

## ホームステイを 経験して



2年 野澤 友梨香

私が、海外研修に行つてみたかった理由は、日本と違う環境でホームステイをしてみたかったからです。

初めてホストファミリーに会った時は、緊張して質問されたことしか話すことができませんでした。でも、同じ年のカリーがやさしく話してくれてファミリーになじむことができました。わからない時は辞書を使って調べてくれたりして会話をすることができました。私も日本語を教えたり持っていた折り紙をしたりしました。カリーは初めてで難しいと言いましたがとても喜んでくれました。

学校では、英語のレッスンをしたり、カリーのクラスで授業を受けたりしました。休み時間になるとお菓子を食べ

たりしました。学校でお菓子を食べるのはびっくりしました。

学校の休みの日には、ホストファミリーに、シドニーの夜景を見に連れて行ってもらいました。オペラハウス・ハーバーブリッジ・フォートデニソンなどを見ました。オペラハウスはライトがあたっていてとてもきれいでした。ハーバーブリッジには夜なのに人が登っていてびっくりしましたが、昼でも夜でも頂上を目指して登る人がいるそうです。フォートデニソンは戦いの時に使われたそうです。それはお父さんが夜景を見ながら話してくれました。いろいろ話してくれたけど半分くらいはわかりませんでした。でもオーストラリアのことが少しでもわかった気がしてうれしかったです。

その他にもコアラやカンガルーを見に行きました。オーストラリアといえばやっぱりコアラ。そのコアラが見れてすごく感激しました。すごくかわいかったです。カンガルーにはえさをあげたりさわ

たりしました。

夕食は、毎日お肉が使われていました。日本では食べたことのない料理がありました。一番おいしかったのは、ミートスパゲッティでした。

オーストラリアには、いろんな国の人が住んでいてその中でも中国人が多いらしくスーパーマーケットに売られている商品に中国語で書かれている物がたくさんありました。なんだか不思議な感じがしました。スーパーマーケットに売っていた物はほとんど日本と同じでした。

行く前に質素な国と聞いていましたが、行ってみて家は広いし物はたくさんあったし、とても裕福な生活をしていると思いました。家には、ピリヤードルームがあつてカリーと学校から帰るとやっています。

ホストファミリーにすごくよくしてもらつて楽しい海外研修を過ごすことができました。短い間だったけどいろんな体験や思い出ができてよかったです。最後のパーティーでは、ホストファミリーとのお別れ

がつかつたです。

今回の研修でオーストラリアに興味を持ちました。もっと深く知りたいと思いました。また機会があればオーストラリアに行つてみたいし、カリーにも再会したいと思います。



## 海外研修に 参加して



2年 児玉 和可子

私が、海外研修のメインとなるホームステイでお世話になった家の人たちは、とても

いいけど、オーストラリアでは、全員がしないといけないそうです。それをいわれた時はビックリしたけど、すごく感心しました。

ホームステイは、ホテルに泊まっているだけではわからないことがたくさんあつて、とてもよかつたです。24時間外人といつしよということ、少しさみしくなつた時もあるけど、外人になつた気分が過すことが出来ました。この海外研修は、私を大人にしてくれたし、英語が楽しくなりました。この思い出は一生の思い出になりました。本当のためになりました。海外研修で学んだたくさんのお話を、これから生活にどんな生かしていきたいです。



明るくて、馴染みやすい家族でした。

ホストファミリーの人たちは、とても気を使ってくれました。でも、それは日本とはちよつと違いました。日本人は、お客がくるとこちそうを出したり、きれいに掃除したり、いつもと違うことをします。

しかし、ホストファミリーの人たちは、すごく自然な感じで、まるで友達のように接してくれました。それは日本人にはあまり出来ないことだと思えました。とてもオープンな家族で、居心地がよかつたです。オーストラリアの子供は、家にいる時、日本人のように塾へは行かないし、勉強もしないようでした。何をしているかというと、ゲームやトランプ、友達と遊んだり、テレビを見たりしていました。

ホームステイ先の家は、まさに外国の家で、もうテレビの世界で感じでした。玄関はすごく厳重だったし、トイレとお風呂と洗面所が一緒で、本当に外国に来ているんだと改めて実感しながらも、すごくうれしくなりました。オーストラリアでは、ポケ

モンやデジモンなどの日本のアニメが放送されていました。ほかにも、日本を旅する旅番組もあつたし、日本語でやっている番組もあつておどろきました。

ホストファミリーの朝は早く、私が6時半に起きると、お父さんはもう家を出ていました。ほかの家族もみんな起きていて、朝からすぐに質問攻めで、起きてすぐ頭をフル回転させなきゃいけないので、すごく大変でした。

朝食は、ほとんどコーンフレークでした。でも、オーストラリア人むけの味つけだったので、味がうすくておいし

いとはいえませんでした。学校に行くのは、毎日お母さんが送ってくれました。学校は、日本と違う所がたくさんありました。授業は、自分で勉強したい教科を自分で選ぶ形でした。自分の将来のためや、自分の好きな教科を中心として受けられるようでした。

授業の雰囲気はとてもよくて、一人一人が積極的でした。先生の説明は新しい単元に入る時も、とても短くて、自分

で問題を解く時間の方が多かつたです。

学校には、2時間目が終わると、おやつ時間があつて、それは30分以上あつてとてもにぎやかでした。スポーツしている人もいたし、おしゃべりしている人もいてさまざま

4時間目が終わると、また長いランタイムです。生徒は、ほとんどが自分で昼食を用意しなければならぬので、学校には、売店がありました。ジュースにおかし、昼食、アイスなどが売っていました。ほかにも簡単に食べられるカップラーメンが作れるようにポットがありました。また、電子レンジもあつて、本当にびっくりしました。

学校が終わり、家に帰るのは全校一緒に午後2時半ごろととても早くてビックリしました。外国の人たちは、よく食べるという聞いていたけれど、本当によく食べました。家に帰るとすぐに炭酸ジュースを飲み、おやつを食べます。食べるのが精一杯なのに、また炭酸ジュースを飲みます。や

アイス食べる？といわれ、私

が食べれないというと、残念

そうにアイスを食べていました。ただ「すごい」と思いました。

オーストラリアの車は、日本

本車が多くて、全体の半分くらいが日本の車だと思いましたが、オーストラリアの車の値段は、日本より4倍も高く売られていたので、中古車を買うのが普通なんだそうです。

あと、オーストラリアは道路から見える所に洗濯物を干してはダメで、庭もきれいに

手入れしておかないと、役所の人に注意されます。それでも手入れしないと、強制的に掃除され、あとで高額な請求書がくるそうです。そのせいか、どの家もきれいに手入れしてあり、統一感があつて、オシャレな感じでした。

ショッピングセンターなどでは、中に入っても何も買わなかつた場合は、レジを通してカバンの中を開いて見せなきゃいけません。悪い人がいるんだと思いました。日本では車に乗る時、シートベルトをしなきゃいけないのは前に乗っている人だけで

## 月瀧村中学生 海外研修 概略

期間 7月28日～8月8日  
12日間

研修先 オーストラリア(ホームステイによる語学及び海外体験学習)

7/28(土) オーストラリアシドニーへ向け出発(機中泊)

7/29(日) シドニー着  
シドニー市内研修  
ホストファミリー歓迎・対面式後、各ホストファミリー宅へ

7/30(月) 8/3(金) 地元の中学校にて。英語レッスン、地元中学生と交流・スポーツ交流(ホストファミリー宅泊)

8/4(土) 8/5(日) 終日ホストファミリーと過ごす

8/6(月) 地元中学校にて、英語レッスン、中学生と交流、スポーツ交流、終了後ホテルへ移動(ホテル泊)

8/7(火) 自由研修 日本へ向けてシドニー発(機中泊)

8/8(水) 月瀧着 報告会